

(1) 新しい時代に対応した能力開発コース

### コミュニティと協働研修

目 標	住民協働の考え方や、協働を実現させるための体系的な仕組みを学ぶ。		
対 象 者	すべての職員		30人
期 間	令和8年 9月29日(火)・30日(水)		2日間
科 目	研修方法	時間	概 要
住民と行政の協働	講義・演習	12	新しい公共の担い手としての住民の役割と協働の考え方、事例紹介、実践
合 計		12	
講師(予定)	千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 関 谷 昇		

研修日程

	9:40	9:50	11:40	12:40	16:30
1日目	オリエンテーション	研修	昼食	研修	
2日目		研修	昼食	研修	

### 環境行政研修

目 標	環境問題全般について理解を深め、環境行政担当者としての職務遂行能力の向上を図る。		
対 象 者	環境行政に携わる職員		30人
期 間	令和8年 8月25日(火)～27日(木)		3日間
科 目	研修方法	時間	概 要
自治体環境行政の基礎	講義	6	環境行政の必要性、自治体の環境条例と環境政策、環境政策の理念と原則、環境政策の手法、環境行政手続、環境行政の実効性確保、環境行政訴訟
環境行政の動向	講義・演習	6	地域社会が直面する3つの課題、持続可能な社会の視点、循環型社会の実現に向けた自治体の役割、地域の地球温暖化対策の実施と自治体の役割、受講生の意見交換
脱炭素による地域づくり	講義	3	先事例の取組、抱えている課題、自治体として考えるべき政策や施策
家庭ごみ有料化の取組と今後の課題	〃	3	家庭ごみ有料化の成果と問題点、今後の制度のあり方や効果的な実施方法
合 計		18	
講師(予定)	○自治体環境行政の基礎 千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 倉 阪 秀 史 ○環境行政の動向 法政大学 名誉教授 田 中 充 ○脱炭素による地域づくり 東京大学先端科学技術研究センター 連携研究員 谷 口 信 雄 ○家庭ごみ有料化の取組と今後の課題 ごみ減量資料室代表/東洋大学名誉教授 山 谷 修 作		

研修日程

	9:40	9:50	11:40	12:40	16:30
1日目	オリエンテーション	研修	昼食	研修	
2日目		研修	昼食	研修	
3日目		研修	昼食	研修	

## EBPM研修（オンライン）《名称変更》

目 標	エビデンス（根拠・データ）に基づいた政策立案のためのフレームワークについて学ぶ。		
対 象 者	すべての職員		40人
期 間	令和8年 8月 7日（金）		1日
科 目	研修方法	時間	概 要
EBPM	講義・ 個人ワーク	6	EBPMの重要性、ロジカルシンキング、オープンデータの収集・加工
合 計		6	
講師（予定）	株式会社EBPM研究所リサーチフェロー・ 甲南大学 経済学部 教授 林 亮 輔 株式会社EBPM研究所リサーチフェロー・ 大分大学 経済学部 准教授 林 勇 貴		

### 研修日程

	9:00	9:10		12:00	13:00		15:50
1日目	オリエン テーション		研修		昼食		研修

## 情報発信力向上研修

目 標	SNS等ソーシャルメディアの現状や利用に当たってのリスクを理解し、その特性を活かした活用方法を学び、自治体の情報を効果的に発信する能力を習得する。		
対 象 者	すべての職員		36人
期 間	令和8年12月 1日（火）・ 2日（水）		2日間
科 目	研修方法	時間	概 要
ソーシャルメディアの概要・危機管理	講義・演習	3	ソーシャルメディアに関する基本的な情報について
情報発信コンプライアンス、ウェブアクセシビリティ、パブリシティの有効活用	"	3	ソーシャルメディアのコンプライアンス・表現方法についてパブリシティの活用で情報を拡大させる方法
ソーシャルメディアの活用事例効果的な情報発信	"	3	ソーシャルメディアの活用事例を研究、分析する
広報プランの作成演習	"	3	実際に情報発信プランの作成を行う
合 計		12	
講師（予定）	株式会社情報文化総合研究所 代表取締役 佐藤佳弘		

### 研修日程

	9:40	9:50		11:40	12:40		16:30
1日目	オリエン テーション		研修		昼食		研修
2日目			研修		昼食		研修

